

会 議 録

会議の名称	第4回小金井平和の日記念行事検討委員会
事務局	企画財政部広報秘書課
開催日時	平成27年9月24日午前10時00分から午前10時50分まで
開催場所	小金井市役所第2庁舎6階601会議室
出席者	委員：根岸座長、林副座長、石田委員、川上委員、河野委員、西田委員 事務局：稲葉市長、天野広報秘書課長、吉田広聴係長
傍聴の可否	可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 記念行事について (2) その他 3 連絡事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第3回・第4回の会議録校正について 4 閉会
発言内容・ 発言者名 (主な発言 要旨等)	<p>発言内容 別紙のとおり</p>
提出資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 小金井平和の日記念行事（案） 2 平成27年度平和講演会アンケート集計表 3 平成27年度非核平和映画会アンケート集計結果 4 平成27年度原爆パネル展総括 5 第3回小金井平和の日記念行事検討委員会会議録（未定稿）

【根岸座長】 おはようございます。ただいまから第4回小金井平和の日記念行事検討委員会を始めます。

今回で4回目、最後の委員会となりますので、これまでの審議過程を踏まえつつ、本日、結論が出せるようにまとめていきたいと思っておりますので、ぜひよろしく願いいたします。

議題に入る前に、前回の会議録、皆さんお持ちでしょうか。会議資料5というのが事前送付されていますので、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】 事務局です。

では、事務局からの説明をします。先日、直前となってしまいまして申しわけなかったんですけれども、18日金曜日に第3回小金井平和の日記念行事検討委員会会議録をお届けしております。こちらは、これまで同様、テープ起こしたものをそのままお配りしたもので、事務局においても未校正のものになります。ご自身の発言部分につきまして、空欄箇所も含め、ご確認の上、修正等ございましたら事務局までご連絡いただくよう、お願いいたします。

なお、前回、配付いたしました第2回小金井平和の日記念行事検討委員会会議録につきましては、本日、回収いたしまして、事務局のほうで取りまとめさせていただきます。

皆様にお集まりいただくのは本日が最後となりますので、取りまとめが終わりましたら、今後の調整は個々に郵送等により確認をさせていただきますので、よろしく願いします。

また、第1回の会議録につきましては既に調整が整っておりまして、現在、市ホームページに掲載しておりますのでご報告いたします。

事務局からは以上です。

【根岸座長】 ありがとうございます。

第3回の会議録につきましてはお持ち帰りいただくことでお願いいたします。前回、配付されました第2回の会議録につきましては、会議終了後、事務局へ提出していただければと思います。

また、今回の会議録の確認も含めまして、今後は郵送で調整することになりますが、よろしく願いします。

それでは、議題に入ります。まず、2、議題、(1)記念行事についてです。これまで協議で調整されたご意見を事務局で取りまとめてもらっていますので、それが会議資料1になります。これについて協議を進めたいと思います。

まず、事務局から資料の説明をお願いいたします。

【事務局】 それでは、資料説明の前に、事前に送付したものの、配付物の確認をさせていただきます。

まず、本日の開催通知と合わせまして、先ほどご説明いたしました会議録のほか、資料4点をお届けしております。右肩に会議資料と記載したものが、会議資料1から会議資料4までございます。本日、お持ちでない方がいらっしゃいましたら改めてお配りいたしますが、いかがでしょうか。1から4までございますでしょうか。

では、順番が前後して恐縮でございますが、資料2から資料4について先にご説明をいたします。これらは、今年度実施しました平和関連事業の参加者からのアンケート結果でございます。平和を推進する事業としてどのような行事を実施してほしいかなど、協議の参考に

なるご意見も含まれていたもので、資料としてお配りしたものでございます。

資料2は平和講演会、資料3は非核平和映画会、資料4は原爆写真パネル展の参加者からのアンケート結果でございます。それぞれ協議の参考にしていただければと思います。

次に資料1についてご説明いたします。こちらは、これまでの協議の中で出されたご意見につきまして、事務局のほうで取りまとめたものでございます。特に補足が必要な部分のみ、ご説明いたします。

一番右側の列、可否等をごらんいただきたいと思います。上から順に、実施が可能なもの、行事内容によって対応できるもの、今年度の実施は困難なもの、平和の日記念行事としての実施は不適というものの4つに分類をしております。事務局の考え方につきましては、おおむね表の課題等の欄に記載のとおりでございます。

まず、作文コンクールにつきましては、早い段階で決定すれば教育委員会のほうでも周知の協力等であれば得られると思っておりますので、実施は可能と考えております。

ポスターや写真資料等の展示についても、コンクール形式ではなく展示会ということであれば、特段、問題なく実施できるものと考えております。こちら、もしコンクールという形になりますと、作文と両方ということになりますと、時間的に厳しいということと、審査基準ですとか選考委員をどうするかというところが、一応、課題として上がってきます。

次の記念品につきましては、当日の参加者に配布するものとしては、応募いただいた作文やポスター等を冊子にまとめたものなどは昨年同様作成することは可能と考えております。また、朗読や、次の行にあります対談等で、当日、登壇していただくようであれば、例えば図書カードなど、謝礼の意味も含めたようなものにできればと考えております。

次に対談でございますが、作文コンクールの応募者から何人かを選んで登壇していただければ、小中学生等からは作文を書くに当たって調べてことを発表してもらう、高齢の方であれば戦争に関する体験等をお話いただくなど、発表会や講演会の要素も取り入れられるものと考えております。また、当日、参加していただいた方からも、質疑応答など、一般の方の参加も可能になるものと思っております。

1つ飛ばしまして音楽会でございます。小金井にゆかりのあるグループで、Everlyという、既にCDデビューをしていて、最近では海外でも演奏しているようなグループがあるんですけども、コンサート活動などをする一方で、市内の小中学校などでミニコンサートを開催するなど、現在、地域活動もされているグループでございますので、そういったところに依頼するのもよいかと考えております。

あとは、卒業式を間近に控えている時期ということで、学校の協力がどこまでいただけるかというのはありますが、吹奏楽部やコーラス部等にお願いするというのも考えられるものと思っております。

事務局のほうで、平和の日記念行事として継続的に実施が可能と考えたものについては以上でございます。それ以外につきましては、課題等につきまして表に記載したとおりでございますので、資料をご確認いただければと思います。

事務局からは以上でございます。

【根岸座長】 ありがとうございます。

事務局からの説明をいただきましたが、前回までの協議の中で出されたご意見につきまして、事務局が実施が可能なものとそうでないものを、一応、整理してもらいました。これを参考に協議を進めていきたいと思っております。

前回の事務局の話では、会場は午前中と午後、両方押さえているということでしたので、午前中には例えば作文コンクールの表彰や発表など、平和について真剣に考えていただく

ような内容で行い、午後からは音楽会など、参加者が楽しめるような行事を行うということも考えられるかと思います。

委員の皆様から何かご意見などあれば、お願いいたします。

今のように、作文コンクール、ポスター、写真資料の展示というのは、原爆の写真集などで前回は話題に上ったのではないかと思います。ただ、戦争の悲惨さ、平和への思いを考えるということで上ったのではないかと思います。

【林副座長】 ちょっといいですか。今までこういうテーマに関するいろいろな市内の行事がありました。非核平和映画会というのが、この間、この資料にも出ていますね。平和講演会だとか、平和の日記念行事と、3つぐらい重なるんですが、今は、この資料としてまとめられたものの中に、重なってどうのこうのとかという、そういうあれはありませんか。

【事務局】 重なっているものということで、今、おっしゃられるとおり、映画会ですとか講演会という形になると重なる形になるんですけども、まず、平和講演会につきましては、今現在は8月を中心に開催しているんですけども、特段、8月でなければいけないということはありませんので、もしこちらで、平和の日記念行事として、毎年、講演会をやるということになれば、一本化することは可能かなとは思っております。

平和映画会につきましては、こちらは非核平和事業ということで行っている関係で、こちら、表にも書きましたけれども、原爆投下との関連から、8月を中心に、毎年、実施しているもので、今後もその時期はずらしにくいのかなと考えております。

一方で、平和の日記念行事につきましては、3月10日の平和の日を中心としてやるということで、こちら3月から時期をずらせないということがありますので、こちらはなかなか一本化することは難しいのかなと思っております。

以上です。

【根岸座長】 ありがとうございます。

いかがでしょうか。

【林副座長】 いろいろなものがその時々によって行われていて、かえって集中度が拡散してしまうので、もう少し整理する必要があるんじゃないかなと思えるんですが、それはまた別の課題として、このアンケートの結果なんかを見てもよくわかりますけれども、映像から受ける影響というのはとても強烈なんです。そういう観点から、ちょっと今、お尋ねしてみました。

【根岸座長】 ほかの委員の方、いかがでしょうか。

【川上委員】 必ずしも原爆云々だとか過去の戦争、70年前の云々じゃなくて、現在、世界でいろいろなことが起きていますね。そういうものをという差別化でいかがかなと。同じになっちゃいますでしょうか。

【根岸座長】 それは、3月10日前後の小金井平和の日記念行事を現在の問題として。

【川上委員】 という形で取り上げるというふうに、重なってしまうというのであれば。重ねても、私はまさに平和のということでのテーマですから、強烈に、半年刻みとかということでも、極論すればいいのかなとは思いますが、それでもね。

【林副座長】 いずれにしても、事務局がまとめて、可否等の中に可能と、こういうふうに整理されているものの中から、今までの議論の経過を踏まえれば、選択してやるということになるんじゃないかと思います。それが現実的な解決策かと思えます。

【根岸座長】 ここで可能と書かれているのは1から7までで、作文コンクール、ポスター展示で、それぞれの課題があるかと思えますけれども、作文コンクール、前回は黒井先生の選考と講評をいただきましたけれども、毎回、そういうわけにもいかないでしょうし、多

分、庁内で選んでいただくという形で、前は1人だけ最優秀賞の方が朗読されましたけれども、少し朗読を多くしたり、あるいは前は小学生でしたか、それが例えば一般の人なども公募に入れるとかという形で、層を広くしていくということも考えられるかと思います。

ポスター展示の場合、先ほど事務局の話にもありましたけれども、選考基準をつくるというのが大変なので、ポスターを出していただいた方のものは、全部、会場に張っていくということを考えてもいいのではないかと思いますし、また、そういうところで、例えば8番のボランティアにそれを手伝ってもらおうとか、そんなことで小中学生の参加も考えられるかと思います。

写真資料展示も、多分、同じような形でできるのではないかと思います。

記念品をどうするかというのがありますけれども、それは置いておいて、5番目の対談というもの、作文コンクールの応募者に対談を行ってもらおうとか、それよりももう少し、会場全体でいろいろな意見をいただくとか、そういう形で、会場全体で何かができるような、朗読と一緒に応募者やそういう人たちとの対談、そんなことが場合によっては講演会のかわりになるかもしれない。

講演会につきましては、先ほど林先生のお話もありましたように、平和講演会との関係というのがあるかと思いますが、ここはもう少し調整をとっていく必要があるかと思えます。

また、午前、午後と1日とってはいますので、音楽会などをやりながら、そこでも平和を考えていくような、そんな話を入れてもらったりしながら音楽会等で楽しんでもらうことが必要ではないかと思えます。そういうことができれば、おそらく1日、有意義に使えるのではないかと思います。

9番以降、今年度の実施は困難、研究発表会は、そのためのパネルをつくるというのは学校の協力が必要ということで今年度は無理ということ。戦争体験談の本をつくる。もう1つは、戦争体験の映像記録。これは平和映画会ともかかわってくるかと思えますけれども、ほかのところでやっているの、ある程度、差別化は必要だろうと思えますし、先ほど林先生のほうからお話がありましたが、映像は人に対して一番直接的な感動を与えるというのがあります、ただ、平和映画会が行われているということと、やはりこれに2時間程度の時間をとらなければいけないだろう、それは1日の中で幾つかやる中で少し無理があるのかもしれない。

スタンプラリーにつきましては、前回の平和の日策定委員会のときから出ているんですけども、実際に市内に戦跡がほとんどないのでなかなか難しいのではないのかということが意見として出てまいりました。

そんな形で、基本的には1から7までを実施していくという形でいかがでしょうか。

【林副座長】 行政が持っている機能だとか能力を超えてまで我々が立ち入って、こういうものをこういう内容でやるべきだとかという、そんな具体的なことを決める必要はないんじゃないか、そこまで権限を与えられているというわけでもないんだろうと思うんです。ある程度、こういうふうに列挙されて、これは可能ですよというものの中から、行政の立場で、これならできるとか、今までの私たちの議論を踏まえて具体的な実施内容を決めてもらうということであるのがあまり無理のないやり方かなと思うんです。

まるっきり白紙委任で行政に丸投げするわけじゃなくて、過去3回と今回の分のいろいろな中の意見を踏まえて、これだけ整理されているわけですから、この中でどういうふうにやっていこうかなど、できるものについて、行政が、一応検討していただくと。出たものについては、最終的に文書でまたこんなふうにしたということになりましたという連絡を

私たちにいただくようにすれば、私はそれでいいんじゃないか。

これは答申という格好になるわけじゃないと思いますけれども、私たちが一定のものを
出して、最終的に判断するのは市長だと思うんです。市の行政の機能を考えながら判断して
いくことになると思うので、その権限にまで私たちが踏み込んで、こうしろ、ああしろとい
うことにはちょっとならないだろうと思うんです。

先ほどお話の出ていた、例えばポスターの展示なんか。前回か前々回か、私、選挙管理委
員会で選挙啓発用のポスターをお願いしているというお話をしたように覚えているんです
が、夏休みの間に課題として、校長会に出て各校に協力をお願いしてやっているんですけれ
ども、結果的に協力してくださる学校は2校だけなんです。それでも何十枚もポスターが出
てくるんです。イトーヨーカドーの中に1週間、掲示しているんですけれども、初めは全部
をどこかの会場で掲示したいと考えていたんですけれども、とてもそんな会場はないわけ
ですね。とてもできないということで、結局、コンクールみたいになって、選別をする格好
になってしまうんです。

ポスターコンクールをやってみても、例えば宮地楽器ホールロビーを使って、あそこに、
全部やったとしても、とてもじゃないけれども、展示できないぐらいのものが集まるんじや
ないかということも考えられるんです。ですから、出たものを全部なんて考え方は無理だし、
そういうところは、行政がやはりいろいろ判断してやるのがいいかなとは思っています。

作文コンクールでも同様だと思うんです。全部を何かの格好で発表するというのは、出た
もの全部を印刷物にする以外にないと思うんですけれども、それなりに出てきたもの全部
の処理は、事務機能の能力を超えるような部分も出てくると思うし、なかなか大変だろうと。
そこら辺も、行政が考えて、いろいろな我々の意見も反映しながら、こういうふうにしてま
とめたらどうだろうかということ、それはお任せするよりないだろうと私は思うんです。
そういう格好でやっていったらどうか。

ここに音楽会とありますけれども、私、これを発言していたのは、音楽会というよりはコ
ンサートみたいな、式典といたらいいのかな、行事の内容があまりかたくならないように、
ソフトなムードを与えるように、コンサートか何か軽く取り入れたらどうかという意味で
言って、音楽会というのは何となく大仰に聞こえますけれども、そういう意味で発言して
いたわけじゃないので。右の課題等について書いてあるのは、これはこれでよく考えられて
いますからいいんですけれども、先ほど説明もありましたからいいんですけれども、音楽会と
あまり硬骨の表現ではないような意識でやってもらったほうがいいんじゃないかなと思
います。

【根岸座長】 ミニコンサート、そんな感じでしょうか。

【林副座長】 ミニコンサートと前に発言していたとっておりますので。

【根岸座長】 こうした案をもとに、具体的には事務局のほうでできることをやっていく
ということをお願いすることになるかと思いますが、ただ、この中で、こういうこと
はこうやっていただきたいとか、こういう思いは続けていただきたいとか、そんな発言もあ
るかと思いますが、ほかの先生方、いかがでしょうか。

石田先生、いかがですか。

【石田委員】 今、先生のご説明で、午前中がコンクール発表、対談と、午後はコンサ
ートですか、音楽会。これ、同じ呼びかけ文で呼びかけて、テーマをよく知らしめておかない
と一本筋が通らなくなってきましたし、多分、E v e r l yというグループですか、どんなあ
れをなさるか、私、ちょっと知らないんですけれども、集まってくる対象の方が、多分、こ
のファンの方とかが多くなって最初の平和ということがかなえられるかなと。

先生が会場で意見を聞くというのは、一般からも意見が聞けるということですのでごくいいんですけれども、それもやはり同じことで、テーマをちゃんと知らしめておかないと、それを踏まえて聞きに来てくださるというふうにしておかないと意見が聞けないんじゃないかなと、今、ふっと、先生の意見を聞きながら私は思っておりましたけれども、その辺、ご検討いただけたらと思います。

【根岸座長】　そうですね。きちんとした目的の周知が重要だというのは、おっしゃるとおりかと思えます。

【林副座長】　ちょっと見落としたんですけれども、やはりメインになるのは、この中のデータの中にありましたね、やはり著名な先生の講演が必要かなと思うんですね。メインに何が置かれるのかという点では、やはりそれになるんだろうかなと思うんですが、意見の中に、近現代に着目した講演が欲しいみたいなことが書いてあるのがありました。そういう視点で戦争とか平和というものを考えることも大事なかなと思うし、予算が16万ということで、非常に少ないんですけれども、予算が16万ということの中でいろいろ難しいのかなと思うところもありますけれども、ある程度、著名な方の講演会というものもやはり私は必要だろうと思うんです。ほかでもやっているからということではなくて、ぜひそれはメインとしてやってもらいたいと思うんです。

【根岸座長】　やはり人を寄せるような著名な方の講演会が必要というご意見ですね。ほかに何かいかがでしょうか。

記念品のことなんですけれども、ちょっとしたものでもいいかと思うんですけれども、できれば参加した方になるべく広く記念品が配られるといいかなとは思っています。作文集やポスターのコピーなどを冊子にまとめる、それを配るというのは確かに大きな記念品になるかと思えますけれども、予算のこともあるでしょうけれども、それだけではなく、何か配れないだろうかということにはちょっと思うんですけれども。

【林副座長】　これも、例えば作文コンクールに応じて作文を提出したとか、ポスター展示にならってポスターを描いて出してきたとか、そういう方たちに対してやるということならいいですが、全体の人に対してやるというのはなかなか、それこそ参加した人に全部というのは必要ないと思うんです。

ただ、それも予算との関係もあるでしょうし、事務局は広聴係が中心でやっていらっしゃるんですけれども、いろんなことが出てきて十分に達成するだけの対応能力というか、機能的な、組織的な能力があるかどうかというのはちょっと懸念するわけです。記念品、それ自体はあまり重点的に考えないほうがいいのか。もしやるとしても、コンクール形式で入選したとか何とかという人に対しては必要かもしれないけれども、せいぜいやってもその程度のことしかできないのかなというふうには思うんですね。

【根岸座長】　そこも予算との関係があるかと思いますが。

【林副座長】　やったことで、かえっているいろいろな不公平だとか疎外感だとかというのが出てきても困るし。

【根岸座長】　それも困りますね。

【林副座長】　そうでなくてできれば一番いいんですけれども。

【根岸座長】　ほかに何か。

【川上委員】　今、先生方のお話を伺っていて、いわゆる小金井平和の記念日というものが3月10日に設定されて、これをいわゆるきちんとした形で、発展するか、発展しないかは別として、行儀のいいというか、非常に言い方はまずいですけれども、予算をはじめ形式として追っていくのか、よく理解できません。冒頭から、私、申し上げているように、いわ

ゆる年代層だとか、多くの人たちに知っていただき、小金井平和の日というのがあり、毎年、催し物があるんですよというのを確立する段階なのかなと私は感じていたんです。非常に行儀よく、職員の皆さんにお願いするとかいう形ですのか、ちょっとクエスチョンマークというか、わからなくなった。

根岸先生のほうから、皆さんに参加してもらったポスターなりを全部張りましょうとの提案がありました。場所がなくて張れないのなら、別に1カ所じゃなくて、もういろいろな、図書館等市の施設であろうと何だろうと、全部に張るというのも、荒っぽいかもしれませんが、いわゆる市をもり立てるという意味では、工夫が必要です。3月10日「平和記念日」を市民によく浸透するよう全力で尽力願います。予算も勝ち取ってください。大切な記念日です。

もう少し小金井を活気づけて、将来に、それから基本である平和というのをきちっと据えて、平和記念日をみんなで末までもこれは貫きましょうよというポイントを、先輩方がつくっていただいたこの記念日をグッと前面に出す。私は、市民みんなが参加意識で、1人でも、年寄りだけじゃない、若い人たちが参加できるような何かをつくっていくという形でできないのかなと思っているんですけれども。今日、最後なので繰り返しになりますが、提案いたします。

【根岸座長】 基本的に、今後、続けていただけるという意味での平和の日検討なので。

【川上委員】 なかなか職員さんの方に、事務局さんにとというのは非常にルーチンの仕事があって、こういうことが入ってくると大変だと思うんです。私もボランティアの精神というか、気持ちで、今回、企業をリタイアしたものですから、国勢調査の調査員ということで、今、一区画をやらせていただいているんです。初めてだし、何とか調査には協力して、ほんとうにわかっていただいて、皆さんに参加していただけるにはどうしたらいいかという、私なりに非常に貧しいながらも事務局の担当の方にいろいろ相談したり、教えていただいてやっているんです。

非常に物足りないのは、私の聞き方とか、あまりにも無知なのか知りませんが、最悪の場合には説明書きがあるからそれを読んでもらいなさいとか、実際には書いていない内容をどこかに書いてあるでしょうみたいなことが返ってくるんです。担当者の方が、その書物なりそういう資料なりをきちっとマスターして、それで我々に指導していただけるのが本来の仕事と自覚努力願います。説明会に集まりましたけれども、年寄りと主婦の方が主流です。そうすると、やはり事務局の人たちは大変でしょうけれども、理解して、それなりに説明していかないとほんとうのものはできないんじゃないかなとリアルに感じたんです。時間内消化で結果終わることになる。

市の職員さんの方には、大変でしょうけれども、しかしそれが仕事じゃないかなと私は思うんです。そういう意味で、平和の記念日についても、どうしたらこの記念日を設定した市長さんが音頭を取ってやり出したものをしっかり受け留め継続発展するよう傾注、努力願います。

市長さんといえども、今年は選挙だそうですねけれども、ずっと市長さんではない。次の人たちがバトンタッチをする。誰がかわろうが、小金井市の平和の記念日はということで継続していくんだということが大事かなと思いますので。

すみません、抽象的で申しわけないんですけれども心からご尽力をお願いいたします。

【根岸座長】 継続性、今後、さらに市民参加の形で盛り上げていく、その考え方というのは基本になるかと思えますけれども。

ほかにはいかがでしょうか。市のほうから参加していただいている河野委員、西田委員、い

かがでしょうか。何かご意見があれば。特によろしいですか。

【西田委員】 前回、しゃべりすぎていますから。今回、河野委員から、もし何かあればぜひ私も聞きたいです。

【河野委員】 大体、皆さんのご意見としていただいているとおりにかなとは思ってはいません。やはり記念品になりますと、ほかの行事とかの兼ね合いもあるので、ご来場いただいた方、皆さんにちょっとお渡しするのは難しいかなと思いました。逆に、主体的に参加なさった方々に、こういう形で冊子としてまとめるというのがやれることかなとは思っています。

対談につきましても、やはり幅広く参加していただけるほうがいいかなと思っていますし、会場を巻き込んで一体化してできればなというのがいいかなと思っています。

講演会なんですけれども、もともと条例の課題は戦争、第二次世界大戦とか、戦争の課題かなと思うんですが、中東和平の関係の行事の流れで、中東アフリカ局長に今のイスラムの状況とかをお話していただいたときに、外国人の方も含めてかなり幅広い方がお集まりになって、新聞とか報道でなかなかわからない実際のところというんでしょうか、その国の方々の思いとかも伝えていただいたというのがありまして、非常に好評をいただいております。過去も踏まえつつ、現在の状況という形の講演も効果的かなと感じてはいます。

以上です。

【根岸座長】 ありがとうございます。

ほかにご意見はいかがでしょうか。

【西田委員】 いかにかテーマをきちっと皆さんに知っていただくかというのが、何でもいいですよみたいな感じにならないように、そこだけ、先ほど石田委員もおっしゃっていましたが、筋が通っていないといけないかなという点は、ミニコンサートと前半の作文コンクールや対談などのお話が、全く関連性がよくわからないみたいな感じになってしまうのもいけないので、これはもう事務局のほうできちっとテーマをやって、毎年、ちょっとずつ違っていてもいいのかもしれないんですけども、今年はこのテーマで、集まる方もそのつもりで来ていただいて対談もしてもらおうとか、そんな形がいいのかなという気がしますけれども。

【根岸座長】 ありがとうございます。

ほかにかかがでしょうか。

大体、ご意見、そのような形で大きな意味ではまとまったと思いますし、基本的に会議資料1にある1から7までを行って、そうした中で、目的、テーマ、筋を通した形で行うということと、もう1つは、やはり将来性を考えながら、今後、そこをさらに続けていく、さらに盛り上げていくようなものにしていき、そのためには、テーマ、あるいは内容を少しずつ変えてもいいのではないかと。ただ、それを実際に行うことは事務局でありますので、事務局のできるだけの力の中でそれを取り込んでいただく。

そんな形で、この会の意見をまとめさせていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【根岸座長】 時間的に早くまとまりましたが、そのような形で本会の意見としてまとめていただきたいと思っております。実施に当たっては詰める部分があると思っておりますし、それにつきましては、ご相談もあるかもしれませんが、事務局にお任せするというところでよろしいでしょうか。

それでは、本日は市長もご出席されておりますので、答申にかわるものとしまして、改めて市長にお返ししたいと思います。

今のような形のものが本会の意見としてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【根岸座長】 ありがとうございます。

これで、本委員会が市長から依頼された内容につきまして結論が出たという形になりましたので、座長の任を解かせていただきます。私もぶれたり、皆さんにいろいろなご迷惑をおかけしましたがご協力のおかげで無事終了できました。どうもありがとうございました。

それでは、事務局にお返しします。

【事務局】 根岸座長、どうも皆様、大変ありがとうございました。

委員会としてのご意見をいただきましたので、これを受けまして、市長のほうからご挨拶を申し上げます。

【稲葉市長】 ご意見をいただきましてありがとうございます。座長さんはじめ委員の皆様には大変お世話になりまして、ありがとうございました。

私は、人類の希求は平和にあると考えております。平和の日という小金井の記念事業が風化しちゃったんでは、もう何もならんなという思いも持っていて、教育委員会にも、社会においても、家庭においても、3月10日が小金井平和の日なんだと、この前後は平和の尊さ、戦争の危うさをきちっと子供たちに教えるようにと申し上げております。先ほど来、お話がありましたように風化させるわけにはいかないんで、頑張っていかなきゃいけないなと思っております。

さっき河野のほうから、世界連邦推進自治体協議会というのがあって、その総会が小金井で開かれました。全国から集まるので誰か講演をしてもらえる人がいないだろうかということになりまして、私どもが知っている方で、河野のほうから名前が出ました、上村司さんという中東アフリカ局長なんです。まさに、今なお、混乱の中にいた方です。

この方が小金井へ越してきてもう10年ぐらいになると言っていたかなと思って、私も、最初、お会いしたときに「上村さん、小金井に来る前はどこにいたんですか」と言ったら、「サウジアラビアだよ。サウジアラビアからここに来たんだ」と、ちょっとスケールが違うなと思っていて、なぜ小金井にいらしたかといったら、やはり小金井がいい町だということで、自分が東大に行っているときは東小金井でアルバイトをしていたこともあって、小金井に愛着があったんで、帰るんなら小金井だといってきたんだということで、この講演には、市民が70人ぐらい。このテーマで人が集まるのかな、かたい話で集まるかなと思ったら、ちょうど私、翌日は外国人による日本語スピーチコンテストだったんです。そこにも、私、出させていただいたら、外国人の方々も日本の方々も大勢いらっちゃって、昨日の講演はよかったねという話をほんとう異口同音に聞きました。よかったなと思いました。

そういう意味で、地元の著名な方に、地元割引で少し交渉する必要があるのかなとも思っています。

過日、珍しく、私どもというか、1カ月ぐらい前ですか、UNCR、国連高等難民弁務官事務所から電話がありまして、シリアが大変なんですという話で、今、盛んに報道されていますけれども、人口2,200万人のうちに一千数百万人が難民なんだ、これを何とかしなければという電話でした。

私は誰と話したのか、興奮しちゃっていてわからなくて、ちょっともったいないことをしたなと思ってはいたんですけれども、時々、そこのつき合いがあるもんですから電話してくれたのかなと思ってはいたんです。

では、果たして、世界平和のために小金井で難民を受け入れるか、日本で受け入れられるかと。本音と建前と、いろいろかなと思うと、ちょっと頭を悩ますところです。ドイツなど、ああいうふうを受け入れると、そこにみんなで殺到しちゃうのもいがかかと思うし、みんな

で分散しなきゃならないんだろうとは思いますが、じゃ、日本はどうなんだと言われたときに、果たして日本でも受け入れましょうよと言えるのかどうか。小金井、割り当てで1,000人だとか100人だとかと言われたらできるかという、これも難しいなど。平和というのはほんとうに難しいものだというのを実感しています。

国会が大混乱の中で法律が議決されたわけですが、これに対する賛否いろいろあるだろうとは思いますが、国民がやはり平和に対する思い、要するに国をきちっと守っていくための集団的自衛権は必要なんだというのか、それは戦争につながるからダメなんだというのか、考え方はいろいろあったとしても、少なくともこれを考えさせた、一石投じたということにはなるのかなと思っていまして、混乱だけで終わらずに、みんなが真剣に平和について考えるようになっていただければいいなと思っております。

先生方からいただきました報告に関しては、真摯に対応させていただきたいと思えます。大変ありがとうございました。

【事務局】 それでは、最後に事務局から連絡事項がございます。前回及び今回の会議録の校正につきましては、担当のほうから個別に調整をさせていただきますので、引き続き、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

なお、今後についてでございますが、本日いただいたご意見をもとに、事務局のほうで具体的な検討を進めてまいります。詳細が固まりましたら改めてご報告をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上で、小金井平和の日記念行事検討委員会を終了させていただきます。

タイトなスケジュールの中、結論をまとめていただきまして、大変ありがとうございました。

【稲葉市長】 ありがとうございました。